

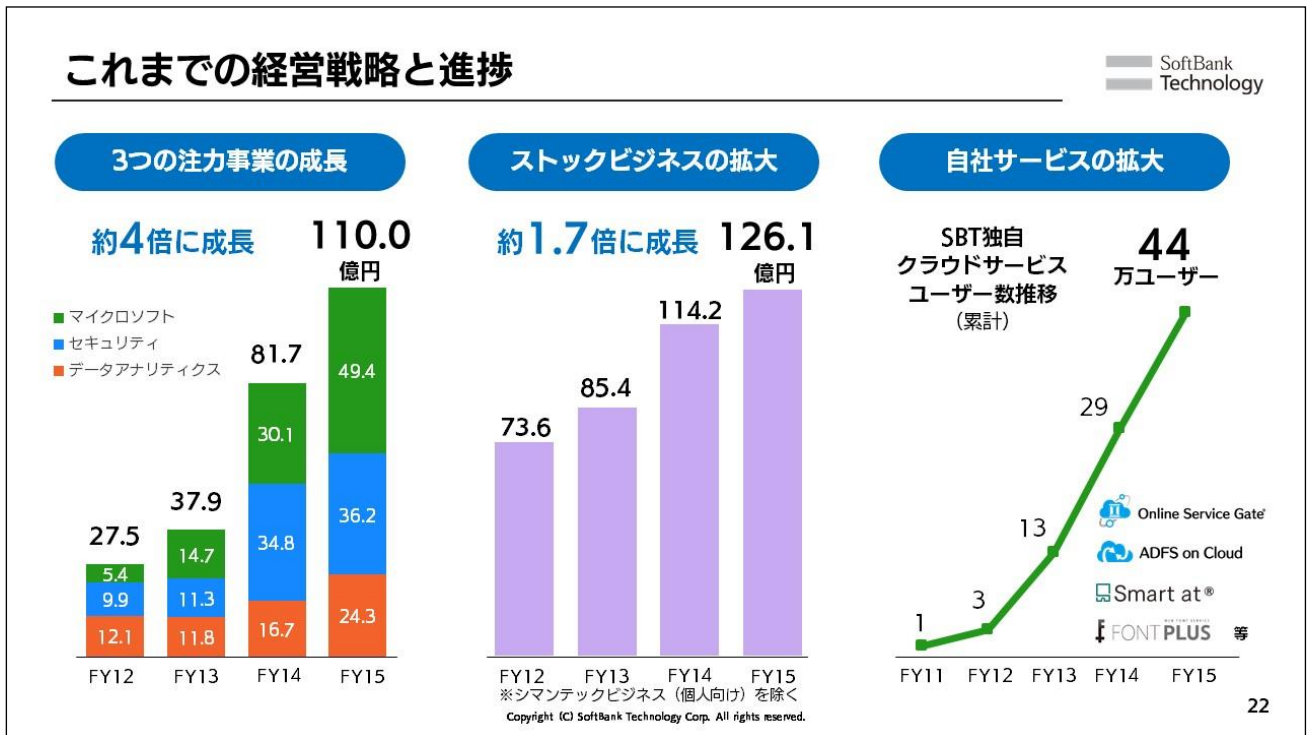
ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
2016年3月期決算説明会概要（事業方針）

日時： 2016年4月27日（水）10:30～11:30

会場： 東京都千代田区丸の内1-9-1  
          グラントウキョウノースタワー18F  
          大和コンファレンスホールA1

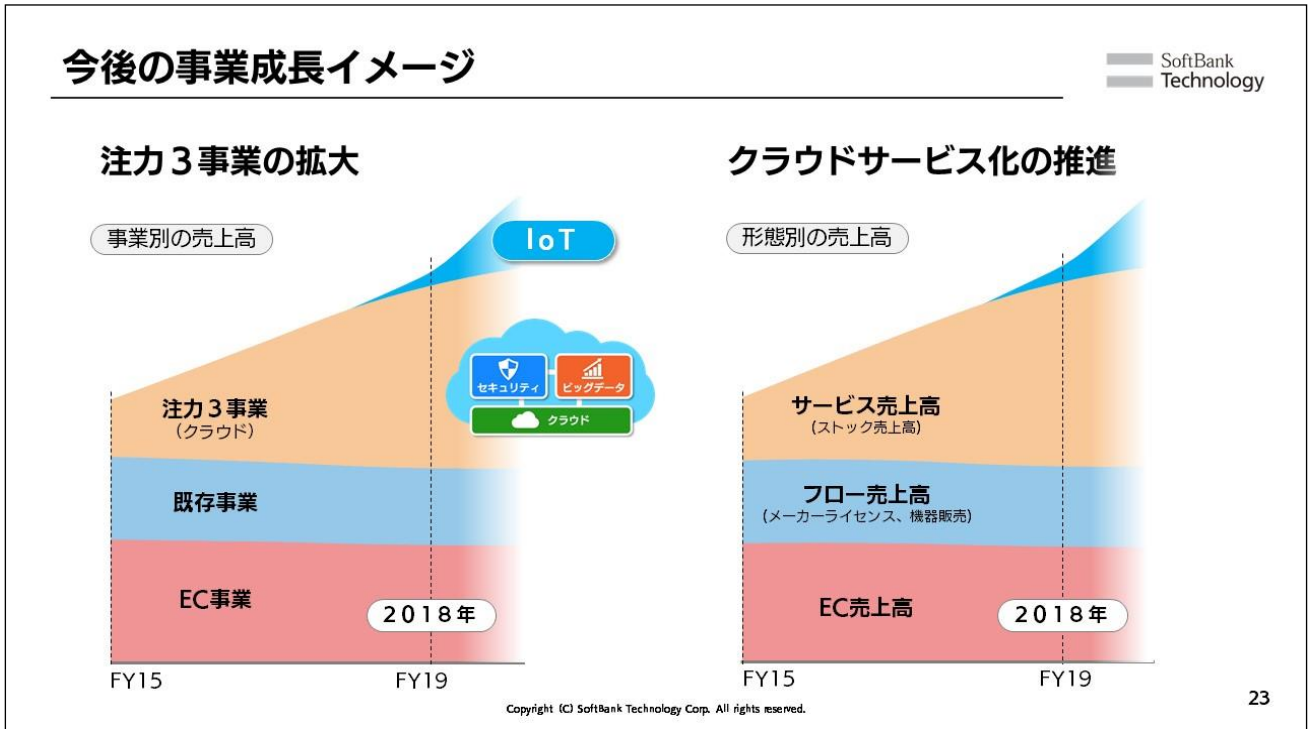
登壇者：       ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
                  代表取締役社長 CEO 阿多親市

■これまでの経営戦略と進捗の概要



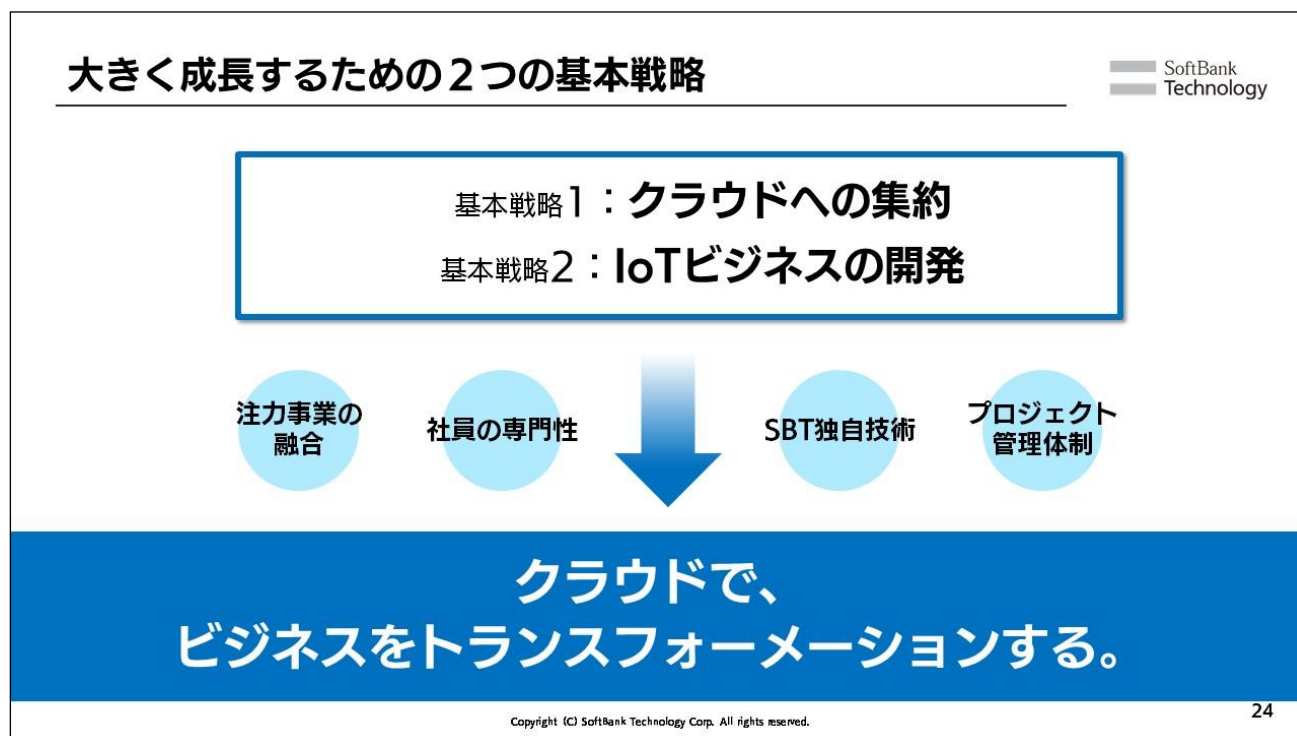
当社は、大きく成長するため、注力3事業を中心に事業のサービス化を進めてまいりました。注力3事業を設定した当初と比較して、注力3事業を合計した売上高は4倍となり、売上高構成比の約1/4を占めるまでになりました。また、ECサービス（シマンテックストア）の売上高を除くストック売上高も堅調に積み上がり、約1.7倍に成長しました。当社独自サービスのユーザー数も40万を突破しました。

■中長期的な事業成長イメージの概要



注力3事業については、年率20%以上の成長を目指してまいります。また、IoT分野については、2018年(2019年3月期)から業績に寄与できることを目標に、事業の準備を進めてまいります。

## ■基本戦略について



今後、SBTでは、「クラウドへの集約」「IoTビジネスの開発」の2つを基本戦略として、「クラウドで、ビジネスをトランスフォーメーションする」企業を目指してまいります。

## ■基本戦略1：クラウドへの集約

### ① SBT Cloud 中心のサービス



#### 【SBTの優位性】

### ワンストップビジネス支援

**データアナリティクス**

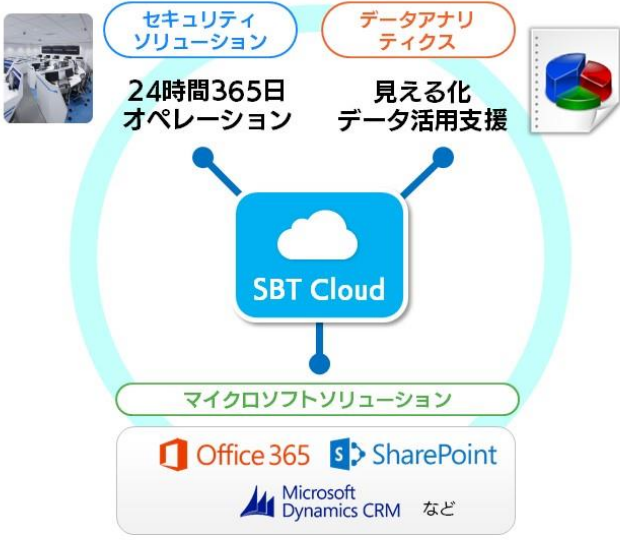
- データサイエンティスト
- データ活用プラットフォーム構築

**セキュリティソリューション**

- セキュリティ専門家集団
- セキュリティ運用

**マイクロソフトソリューション**

- 国内トップクラスのクラウド導入実績  
(国内エンタープライズ企業、100万ユーザー超)
- クラウド運用・監視



セキュリティソリューション  
24時間365日オペレーション

データアナリティクス  
見える化データ活用支援

マイクロソフトソリューション  
Office 365 SharePoint  
Microsoft Dynamics CRM など

Copyright (C) SoftBank Technology Corp. All rights reserved.

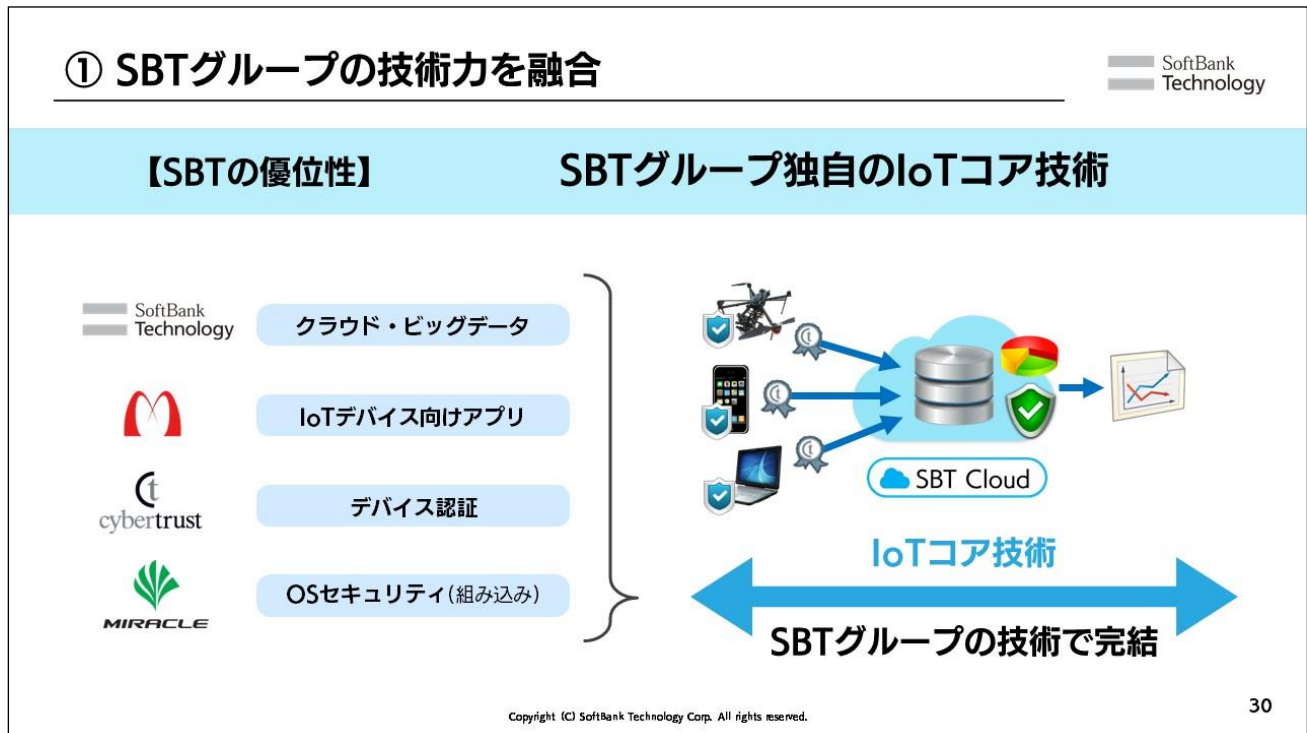
26

当社はこれまで、注力3事業それぞれにおいて、お客様のビジネス課題を解決するための技術力強化やサービス開発を進めてきました。また、お客様へのサービス提供等を通じて、ノウハウを蓄積してきました。

例えば、セキュリティソリューション事業においては、サービス化を目的に2015年3月期に様々なセキュリティ機器やメール、ファイルサーバー、入館履歴等のセキュリティログを相関分析する仕組みを自社導入しました。2016年3月期にはソフトバンク株式会社に対して、セキュリティログの相関分析を行うセキュリティ運用の支援をすることで、セキュリティ運用の人材育成とノウハウを蓄積し、2017年3月期にサービスを開始する準備が整いました。

今後は、注力3事業を融合したクラウドソリューションとして、クラウドサービスの提供からクラウド上のシステム運用と監視、セキュリティ運用に加えて、データサイエンティストや機械学習(AI)を活用したビッグデータ関連サービスまでをワンストップで提供することで、お客様のビジネス拡大に貢献できると考えています。

## ■基本戦略2：IoT ビジネスの開発



IoT 分野では、デバイスに搭載されるセンサーデータをいかに集約して活用するかがポイントになると見込んでおり、子会社のミラクル・リナックスとサイバートラストの独自技術には高い優位性があると考えています。

例えば、自動車やドローンに組み込まれる専用デバイスには、Linux（リナックス）という OS が多く採用されています。Linux OS の基幹部分を開発可能なエンジニアが極めて少ない中で、ミラクル・リナックスは、専用デバイスの OS に必要な機能のみ調整することができる等の技術力を保有しています。この技術力は、OS のセキュリティ対策や起動早期化、安定稼働といった領域で必要になります。また、正しいセンサーから正しいデータが収集されているのか、デバイスの利用者は正しいのかといった確認や判別の技術も必要となります。サイバートラストの電子証明書を利用した認証技術は、デバイスの利用者や収集したデータが正しいものであることを担保する機能を提供できると考えています。

そして、子会社の M-SOLUTIONS が IoT 専用デバイスのアプリケーションを開発して実用化を進め、当社がクラウド上で安全にデータを集積し、機械学習（AI）を活用して分析してアウトプット（付加価値）を創出します。SBT グループが保有する独自の技術とノウハウを組み合わせることで、ワンストップで IoT のコア技術を提供し、各業界で IoT ビジネスの開発を目指してまいります。

## ■次期（2017年3月期）の重点施策



2017年3月期は、セキュリティ運用を提供するマネージド・セキュリティ・サービスをサービスラインナップに加え、「データアナリティクス」「セキュリティソリューション」「マイクロソフトソリューション」を融合させたクラウドソリューションの販売を強化し、注力3事業の成長を目指してまいります。

また、様々な業界の企業と積極的に協業し、IoT分野の実証実験を推進することで、IoTの実用化やビジネスモデル化を目指してまいります。

以上